



大 公 孫 樹

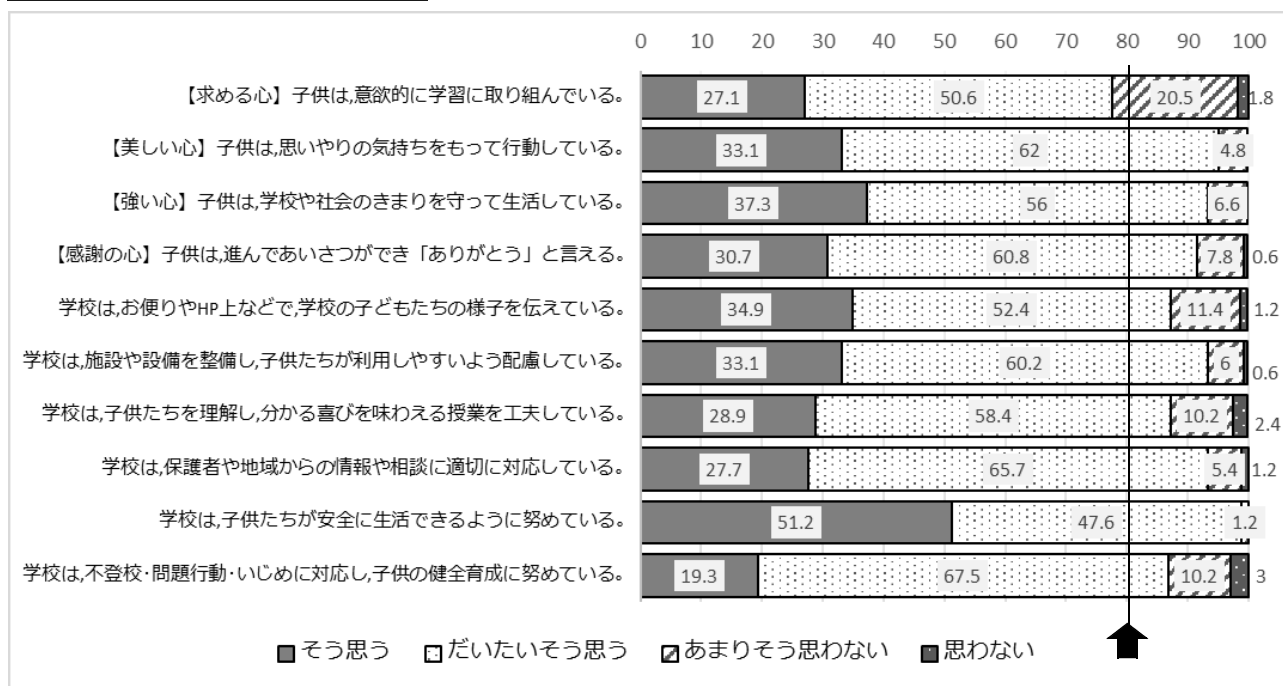
○求める心 ○美しい心 ○強い心 ○感謝の心

令和6年度学校評価結果について

利府第三小学校の保護者の皆様に御協力をいただきました学校アンケートの結果を集計しましたので御報告いたします。多くの皆様からお寄せいただいたアンケート結果の傾向や御意見を全職員で受け止め、今後の取組について検討しました。検討した内容は、今年度すぐに生かせるものは実践へ、次年度の計画に反映できるものは具体的な改善策を立て、一層努力していくことを確認しました。

今後も、利府第三小学校の児童の健やかな成長のために、学校と家庭・地域の力を合わせた取組を推進していきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様の御支援と御協力をいただきますようお願いいたします。

【保護者アンケート】（各御家庭における学校経営に関する評価）



全ての評価項目において80%（↑印）を基準値としています。そう思う（A）、だいたいそう思う（B）、あまりそう思わない（C）、そう思わない（D）の4段階で評価をいただいています。

学校としての取組（保護者アンケートから）

ほとんどの項目で「そう思う（A）」「だいたいそう思う（B）」の合計が基準値の80%を超え、学校経営全般に関して肯定的に受け止めていただいていますことに感謝申し上げます。

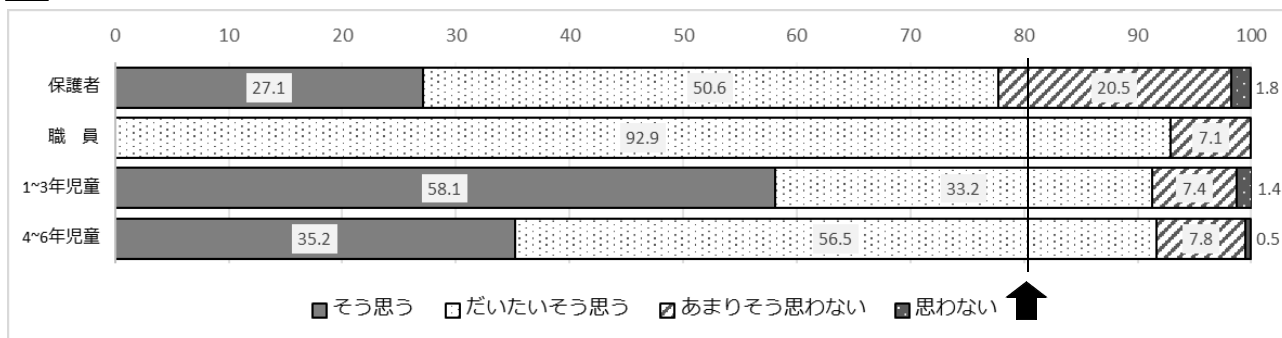
特に「学校は子どもたちが安全に生活できるように努めている」の項目では、半数以上の保護者から「そう思う（A）」の回答をいただき、学校の日常的な安全点検や子どもの体調不良・怪我への対応、計画的な各種避難訓練などを高く評価をしていただきました。

一方「求める心・子どもは意欲的に学習に取り組んでいる」の項目では肯定的な回答が80%に届きませんでした。学校では職員の校内研修を重ねながら、一人一人の考える時間や学び合いを大切にした授業改善に取り組んでおり、「子どもが理解し、分かる喜びを味わえる授業を工夫している」の項目でも高評価をいただいています。それらが児童の主体的な学ぶ姿につながるように、ICT機器の活用や家庭学習の充実を図りながら、児童の学びを深められる学校・家庭との連携を更に進めてまいりたいと考えます。

保護者・児童・職員のアンケート結果を受けて

下記４項目に関して、保護者・児童・職員のアンケート結果を総合的に分析しました。

問 【求める心】 子供は、意欲的に学習に取り組んでいる。

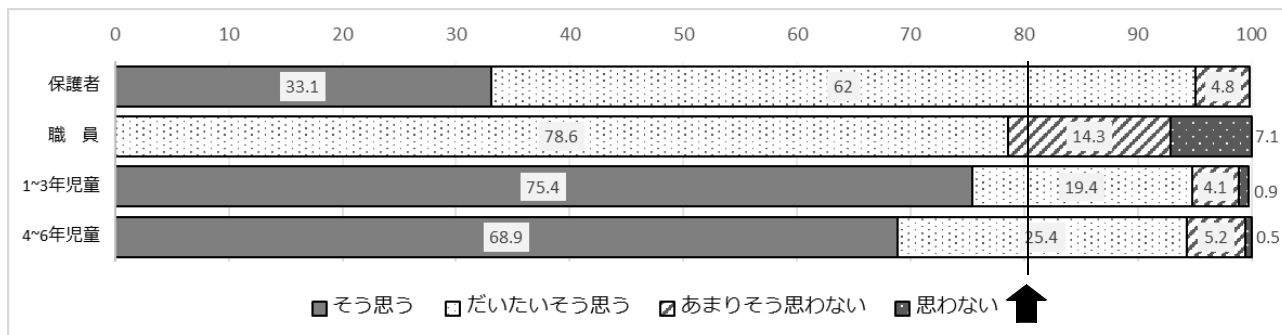


児童の自己評価が高く、特に下学年児童の過半数がA評価です。児童が学ぶ意欲をもち、学習に取り組んできたことが分かります。利府第三小学校の教育指針である「今日が楽しく、明日も来くなる学校づくり」を基に、児童と教師の努力と、保護者の温かい支援の成果が現れていると考えます。

学校では、1人1台タブレット端末を各教科の学習で活用させてきたことや、職員が校内研究を重ねながら一人一人の考える時間や学び合いを大切に授業の工夫に取り組んできました。日々の授業改善が、児童の学びへの充足感を生み出した要因の一つと捉えています。

ただし、児童を見守る保護者、指導する職員側の評価は必ずしも高くありません。これは児童の学習的な課題を見据えているからと捉えます。今後も日々の学習指導を通して個に応じた指導を行うとともに、児童が学級で安心して意欲的に学習に向かうことができる環境づくりを心掛けてまいります。

問 【美しい心】 子供は、思いやりの気持ちをもって行動している。



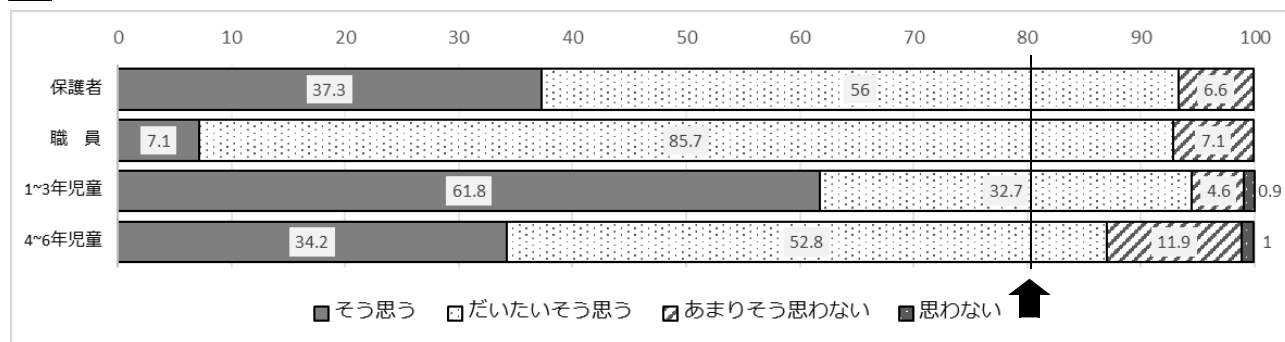
学年に関わらず児童の自己評価が非常に高い傾向にあります。多くの児童が主体的に挨拶をしようと意識していることが分かります。

今年度も各学級で、道徳科指導を確実に実施するだけでなく、普段の当番・係活動の指導、校外学習・宿泊学習への取組、「学級タイム」での集団遊び、Webなわとびへの参加など、様々な活動を通して、児童同士で声を掛け合い認め合う関係づくりを図ってきました。

また上学年児童には、普段から下学年児童への手本となり優しく接するように呼び掛けてきています。低学年の保護者の方からは「休み時間に困っているといつも上学年の子が助けてくれた」と感謝の声をいただきました。

一方で職員は、まだ課題があると捉えています。学校生活の中で、わがままな言動や友達の心を傷付けてしまったりする児童の姿が見られることがあり、その都度丁寧に指導を重ねてきました。今後も、児童がふるさとと学校を愛し、思いやりの心をもって行動できるよう、日々励ましてまいります。

問 【強い心】 子供は、学校や社会のきまりを守って生活している。

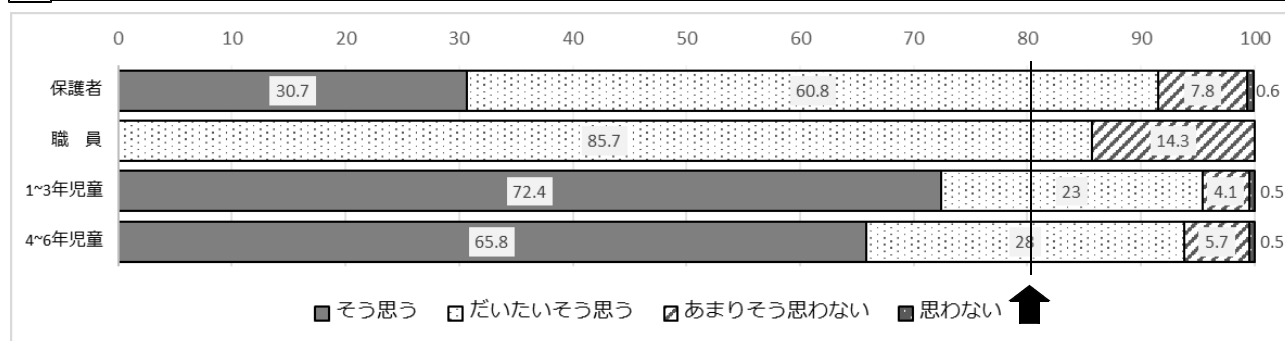


児童の自己評価が高い傾向にあり、児童が学校のルールを守った規律のある生活をしようとして意識していることが分かります。実際に、昨年度に比べ、学校全体で児童の姿に落ち着きが見られるようになってきています。

保護者の皆様からも高い評価をいただいております。学校だよりでお伝えしてきたとおり、昨年度から家庭・地域に帰ってからの児童の過ごし方については、地域からたくさんのお叱りの声をいただてきました。しかし、学校だけでなく各家庭でも公園の使い方や自転車の乗り方、帰宅時間等について粘り強くお声掛けいただいた結果、地域での児童の姿にも改善が見られ、徐々に地域からの苦情も減ってきています。

児童の姿が変わってきたのは、学校と家庭・地域の双方による具体の声掛け・見守りの成果です。今後も、児童が安全に安心して、学校および地域で学習・生活に取り組んでいけるように、学校・家庭・地域の連携を進めながら、児童の生活を見守りと声掛けを続けていきたいと考えます。

問 【感謝の心】 子供は、進んであいさつができ「ありがとう。」と言える。



これも児童の自己評価が非常に高い傾向にあります。多くの児童が積極的に感謝の気持ちを伝えようと意識していることが分かります。地域の皆様からも「見守りや雪かきをしていると、たくさんの子供たちから感謝の言葉を声掛けされた」などとお褒めの言葉をいただきました。日常の様々な生活場面で、児童が自分から「ありがとう。」と言えるように育ってきています。

学校では、児童会による「あいさつ運動」をPTAの協力を得ながら通年で取り組み、互いに挨拶をしようとする雰囲気づくりを学校に根付かせてきました。また、今年度は普段お世話になっている地域ボランティアの皆様を学校に招いて、児童全員で感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を実施し、地域の様々な人たちに支えていただいていることを学校全体で共有し、感謝する心の醸成を図ります。

また、次年度は挨拶の更なる励行をねらい、年間生活目標を改訂することで、組織的・継続的に気持ちの伝わる挨拶ができる態度を育成していきます（詳細は次ページ）。

今後も各家庭と地域の皆様の支えをいただくことで、日々、児童と職員ともども感謝の気持ちを確かめながら学習や諸活動に取り組ませてまいります。引き続き、皆様の御協力と御支援をよろしく願います。

【学校評議員の御意見・御感想】

2/10（月）に、学校評議員の皆様へ前述内容を報告いたしました。以下、評議員の皆様からの御意見と御感想です。

- ・授業を参観して、学習規律（しつけ）の指導が行き届いていることが分かる。子供が伸び伸びと安心して意見を出し合い、学習に取り組んでいる。
- ・個々の子供たちの心に寄り添った指導がされている。今後も、子供たちの心の安定を保ってほしい。悩みを抱えている児童について、対応策を考えることより、まずその子供を理解することを大切にすること。
- ・防災教育に力をいれていてよい。今後は、地域と学校が連携し合う防災活動を考えていきたい。
- ・笹町交差点の横断の仕方について理解した。家庭・地域・関係機関にも周知すること。信号機の変り方も把握し、児童に安全な横断の仕方を指導すること。

令和7年度に向けた取組

①名札の着用について

登下校時の不審者からの防犯のため、**名札は校内のみで着用**とします。登校したら教室で着用し、帰りの会で外して学級で保管します。1年生のみ1学期は家から着用させ、2学期からは学級保管とします。

②下校時刻について

通年で午後4時とし、町内小学校共通のルール「午後5時まで家に帰る」との整合性を図ります。従来は3月～10月の下校時刻が午後4時30分でしたが、30分間で帰宅できない児童がいました。

③月別生活目標について

児童に提示する**月別生活目標を改訂**します。児童の実に合わせ、挨拶の更なる励行とより落ち着いた生活態度の育成をねらい、内容を右のように変更します。

重点目標「気持ちが伝わるあいさつ」を通年で示すことにしたほか、「ろうかや階段は右側を静かに」は学期ごとに繰り返し目標に示し、意識させていきます。

④プールの学習時期について

6月の早い段階でプール開きを行い、**1学期中に水泳学習を完了**させます。昨今の夏場の熱暑に対応し、児童の安全と学習機会の確実な確保をねらいます。

⑤通学路について

野中地区の**笹町交差点にあった従来の横断歩道のルールを撤廃**します。

笹町交差点を南側から学校に向かう際に、三角地帯を経由し横断歩道を2つ渡ることを従来は避けていましたが、今後は通ってよいことにします。該当の横断歩道には信号機が設置されていることに加え、迂回して歩道橋を通るルートは横断歩道を一つ多く渡ること危険性が高まると考えたためです。

全校で安全な横断歩道の渡り方について指導を行うとともに、春の街頭指導やスクールガードリーダーさんによる見守りも行います。

令和7年度の月別生活目標	
【年間重点目標】 気持ちの伝わるあいさつと態度の育成	
『先にあいさつ』『丁寧な言葉遣い』の推奨	
月	生活目標
年間	気持ちが伝わるあいさつをしましょう
4 5	言葉づかいに気をつけて話しましょう
6	ろうかや階段は右側を静かに歩きましょう
7	身の回りの物や使った物はきちんと片付けましょう
8 9	チャイムがなったらすばやく席に着きましょう
10	ろうかや階段は右側を静かに歩きましょう
11	友だちと仲良く遊びましょう
12 1	時計を見て行動しましょう
2	ろうかや階段は右側を静かに歩きましょう
3	学校をピカピカに、きれいにしましょう

